

村における水産事業の更なる発展を目指して！

～東通村と国立大学法人北海道大学大学院水産科学研究院及び水産学部との連携協力に関する協定締結式～



協定書を掲げる越善村長(左)、木村研究院長(右)

11月26日(木)、村庁舎において、東通村・国立大学法人北海道大学大学院水産科学研究院及び水産学部との連携協力に関する協定締結式が執り行われました。

この協定は、磯根資源(アワビ、コンブ、ウニ等)の回復や魚介類(地まきホタテ、サケ・サクラマス等)の増養殖、魚介藻類の高付加価値等に関する調査・研究事業、人財育成及び漁業技術の高度化を目的とします。

協定締結にあたり越善靖夫村長は、「水産事業を発展させていくうえで非常に心強く、新しい知恵・技術を是非頂きたい」と期待を述べ、続いて、木村暢夫研究院長は、「今後の東通村の水産事業を盛上げ、地域貢献に尽力していきたい。」と意気込みを述べました。

漁港施設の災害時に迅速な復旧を支援！

～東通村と(一社)水産土木建設技術センターとの災害復旧支援協定締結式～



協定書を掲げる越善村長(左)、吉塚理事長(右)

11月17日(火)、村庁舎において、東通村・(一社)水産土木建設技術センターによる「漁港等の施設の災害復旧支援に関する協定」の締結式が執り行われました。

この協定は、災害復旧支援に関して基本的な事項を定め、災害復旧支援の円滑な実施により、村が所管する漁港、漁場、漁村、海岸等の施設が被災した際に、迅速な復旧を図ることを目的とします。

協定締結にあたり越善靖夫村長は、「安全、安心な村づくりを進めていく上で、大変心強い。」と期待を述べ、続いて、吉塚靖浩理事長からは、「今後も地域貢献に尽力していきたい。」と意気込みを述べました。

地域住民の安全・防犯対策のため、村へ街路灯寄贈



越善村長(写真中央)に目録を手渡す
江刺家所長(写真左)と平野所長(写真右)

東北電力ネットワーク(株)むつ電力センター(江刺家公也所長・写真左)と(株)ユアテックむつ営業所(平野孝徳所長・写真右)から、村へ街路灯が寄贈され、12月4日(金)に村庁舎において寄贈式が行われました。

この街路灯の寄贈は、これまで両社が「明るい街づくりに向けた取り組みと安全・防犯に寄与したい」と、自治体に対して行ってきたものです。

式では、「地域社会の明るい街づくりのため活用してください」と、江刺家所長からLED街路灯25基、平野所長から取付工事一式の目録が、それぞれ越善靖夫村長に手渡されました。

今回寄贈された街路灯は、村内の老朽化した街路灯の建替えや未整備箇所に設置し、村の安全・防犯の為に活用します。